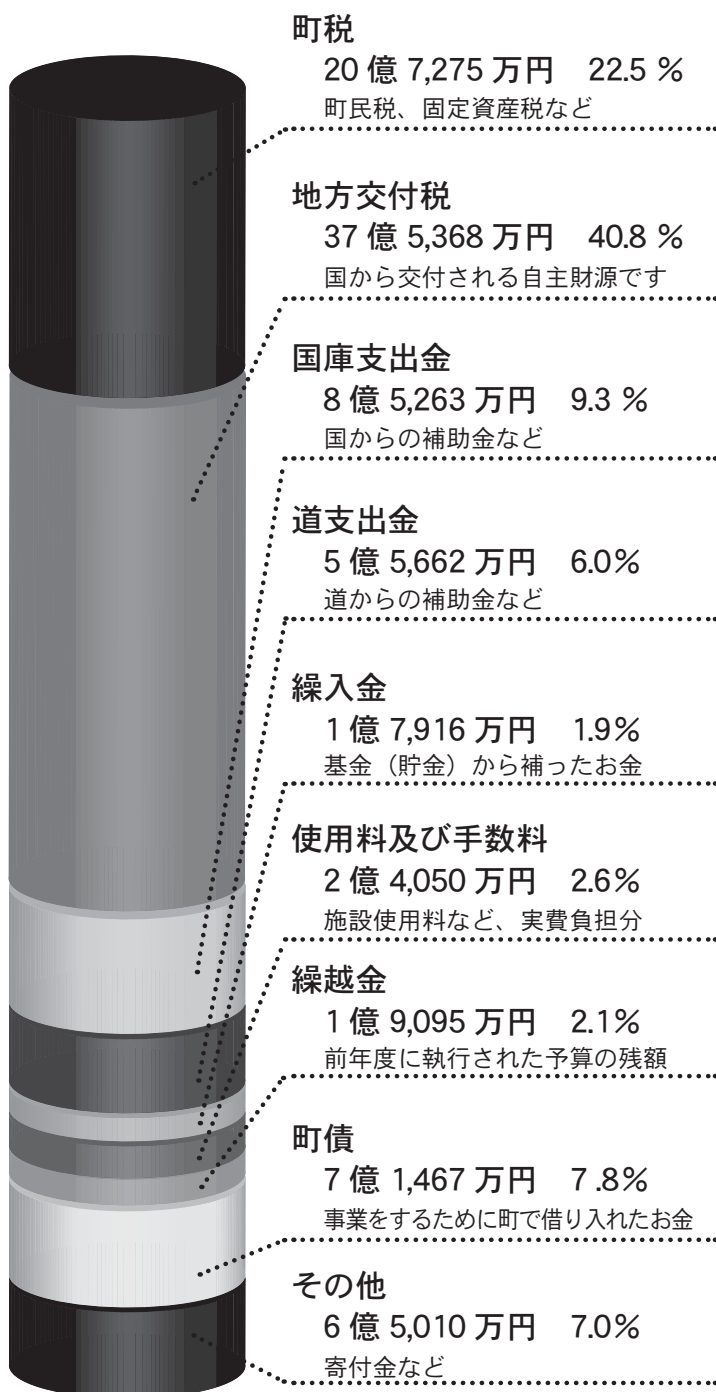


平成 22 年度各会計収支決算額

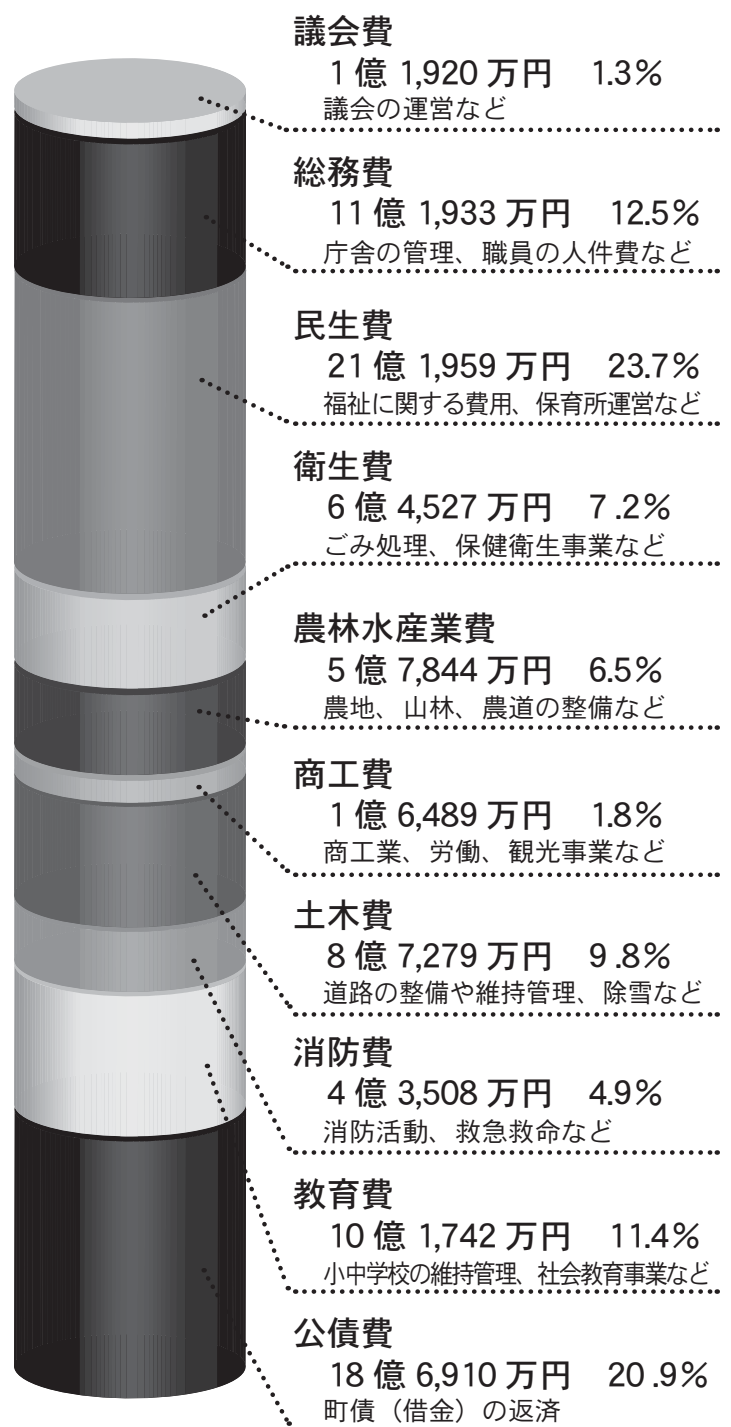
平成 22 年度は、歳入は地方交付税の増加により総額が前年度数値を上回りました。一方、歳出は教育施設の耐震化等で教育費が大幅に増加したものの、全体的に経費を抑え前年度数値より減額に転じました。

予算の執行については、町の実情に応じた事業を実施するための財源を確保し、重点施策に配慮しつつ経費全般にわたり優先度・緊急度を検討するとともに、既存の事業についても見直しを図るなど、財政状況の建て直しを念頭において行いました。

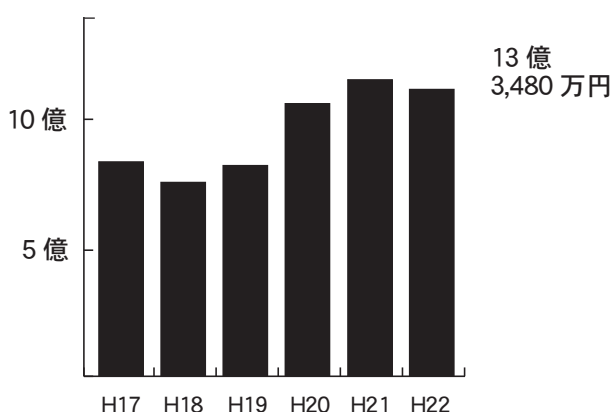
歳 入
92 億 1,106 万円



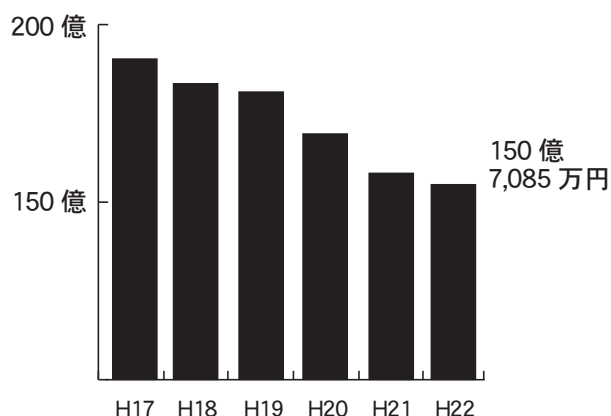
歳 出
89 億 4,111 万円



基金残高の推移



町債務残高の推移



特別会計

(単位: 万円)

会計名	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険	21億 3,456	22億 2,514	▲ 9,058
下水道	9億 3,164	9億 1,978	1,186
農業集落排水	8,124	7,819	305
介護保健	11億 578	10億 8,686	1,892
介護サービス	7,001	6,338	663
後期高齢者医療	1億 6,862	1億 6,484	378
老人保健	449	449	0

※下水道事業特別会計には、一部普通会計に含めるものがあるため、決算書の数値とは異なります。

水道事業会計

(単位: 万円)

区分	収入	支出
収益的収支	4億 1,506	3億 9,177
資本的収支	2億 8,754	4億 1,306



平成 22 年度に取り組んだ主要事業

◆各小・中学校耐震改修事業 256,305,000 円

当別小学校校舎、当別中学校校舎及び屋内体育館、西当別中学校屋内体育館の耐震改修工事。平成 21 年度に実施した各学校の耐震診断において、耐震性能が低かった各小・中学校の耐震改修工事を実施し、大規模な地震に対し、耐震性能を高めました。

◆札沼線電化整備事業 10,000,000 円

J R 札沼線 (あいの里公園～北海道医療大学間) の電化事業を実施し、輸送サービスの向上など、道央圏における利便性を向上させるため、事業主体である北海道高速鉄道開発(株)へ出資しました。



◆認定こども園整備事業 212,746,000 円

幼児教育と保育を一体的に提供する認定こども園の施設整備に係る補助事業。子どもが幼児期において均等に質の高い教育・保育を受けられる環境を整備するため、幼保連携型認定こども園を新設し、社会福祉法人の運営により平成 23 年度から開園しています。

◆アンテナショップ・サテライト ショップ等出展事業 7,582,000 円

当別町及びまちの農産品・特産品等の知名度不足から、PR不足の解消や新たな当別ブランド創出を行うため、北海道や札幌市などのアンテナ・サテライトショップ等への出展、他市町村や道外の姉妹都市のイベントに参加し、当別町の特産品となる農産品・農産加工品を積極的にPRしました。

健全な財政運営に向けた取り組み

財政健全化法に基づく健全化判断比率

国では、自治体の財政状況を判断する4つの指標の公表を義務付けた「財政健全化法」を制定し、自主的な改善努力を図る「財政健全化団体」、国の指導下におかれ、自治体が行う事業を厳しく制限する「財政再生団体」の2つの数値基準を設けて、自治体の財政規律をチェックすることとなっており、市町村では平成19年度決算から公表されています。

①実質赤字比率 一般会計の単年度内の収支、赤字・黒字の比率

	国の基準	当別の基準	H22決算による当別町の比率
早期健全化基準	11.25～15%	14.27%	—
財政再生基準	20%		

実質赤字比率の数値は、平成22年度決算では、2億2,546万円の黒字のため、該当ありません。

当別町の基準額では、赤字額9億1,201万円になると財政健全化団体に、赤字額12億7,822万円で財政再生団体にそれぞれ該当します。

②連結実質赤字比率 全ての会計の単年度内の収支、赤字・黒字の比率

	国の基準	当別の基準	H22決算による当別町の比率
早期健全化基準	16.25～20%	19.27%	—
財政再生基準	35%		

連結実質赤字比率の数値は、平成22年度決算では、5億8,621万円の黒字であるため、該当ありません。

当別町の基準額では、赤字額12億3,157万円になると財政健全化団体に、赤字額22億3,689万円で財政再生団体にそれぞれ該当します。

③実質公債費比率 自治体の借金返済に係る比率

	国の基準	H22決算による当別町の比率
早期健全化基準	25%	19.9%
財政再生基準	35%	

実質公債費比率は、19.9%（昨年より1.7ポイント減）で全道ワースト13位（前年度は15位）となっています。

平成22年度 17.7%
平成21年度 20.1%
平成20年度 21.9%

3ヵ年平均 19.9%

④将来負担比率 自治体の負担として将来必要になる額の比率

	国の基準	H22決算による当別町の比率
早期健全化基準	350%	173.8%
財政再生基準	—	

将来負担比率は173.8%となり全道ワースト9位（前年度は8位）となっています。

当別町財政運営計画の状況

本町は、平成21年度から平成25年度までを計画年度とした「当別町財政運営計画」の取り組みにより財政健全化を図っており、現在国が定めた4つの健全化判断比率による早期健全化団体には該当していません。しかしながら、4つの比率のうち、実質公債費比率と将来負担比率が道内市町村でも高く、今後も継続して財政の健全化を進める必要があります。

本計画で定めた目標と、平成22年度決算の状況は、次のとおりです。

	平成22年度	平成25年度
実質公債費比率	19.9%	18%以下
将来負担比率	173.8%	200%以下
地方債残高	151億円	130億円以下
財政調整基金残高	4.5億円	5.1億円以上

本計画では、内部管理経費の縮減など計画的に財政運営を進め、持続可能な安定した財政基盤の確立を図り、町民の皆様へ安定した行政サービスを提供できるように取り組みを進めます。

財政事情説明書と財務諸表を公表します

◆**財政事情説明書**…年2回「当別町の財政がどのような状態にあるのか」ということをお知らせするため、収入及び支出の概況などを説明するものです。公表期間は11月1日から1年間です。

◆**財務諸表**…財務状況・資産情報の開示等を目的に、国が進める新地方公会計制度に基づき、民間企業会計の「発生主義的会計」の考え方を取り入れた財務諸表を作成しました。

◆**町ホームページ**

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

▼**問合せ** 財政課財政係（☎23-2331）